

○財政状況と行財政改革推進について

【財政状況】

- ・令和6年度の一般会計の決算は、約1,000万円の黒字となっておりますが、これは財政調整基金約5億円を歳入として繰り入れています。
- ・令和7年度当初予算では、すでに7億9,000万円の財政調整基金を歳入として繰り入れており、実質的には令和6年度以上の取崩しとなる見通しです。
- ・本市では約28億円の財政調整基金がありましたが、令和6年度決算で約5億円、令和7年度で約7億9,000万円を取り崩しており、基金残高が約15億円となっております。
- ・昨今の物価高騰に伴う経費の増加、少子高齢化に伴う税収の減少・社会保障関連経費の増加などが進んでおり、今以上の収支の悪化が想定されています。

※財政調整基金

自治体における年度間の財源の不均衡を調整するための積立金です。財源に余裕のある年度に積み立てを行い、大規模災害の発生や大幅な税収減などがある年度に繰入を行います。この財政調整基金については、地方財政法で規定されています。

【行財政改革推進本部】

- ・本市では、これらの厳しい財政状況を踏まえ、市長を本部長とする行財政改革推進本部を4月1日に立ち上げ、さらに下部組織として公共施設再編整備WG、病院WG、窓口業務WG、施設光熱水費WG、経営改善WG、歳入確保WGの6つのWGを設置しました。

参考資料2

- ・ここでは、社会経済情勢の変化に対応し、新たな行政課題や市民のニーズに応えるとともに効率的な行政を確立するため検討を進めています。
- ・今後はこれらの検討を踏まえ、収支均衡を図りながら持続可能な運営ができるよう予算編成を行ってまいります。